

1. 件名：「トランスニュークリア（株）特定兼用キャスクの型式証明申請に関するヒアリング【9】」
2. 日時：令和5年10月6日 13時30分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁 8階北会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）
原子力規制庁：
（新基準適合性審査チーム）
岩澤安全規制調整官、寺野管理官補佐、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官
（核燃料施設審査部門）
甫出安全審査官※
（システム安全研究部門）
後神主任技術研究調査官、福田主任技術研究調査官
トランスニュークリア株式会社：シニアバイスプレジデント 他3名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
提出資料：
資料1-1 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 コメント管理票及びコメント回答（第十六条関連）
資料1-2 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 バスケット用ほう素添加アルミニウム合金（1B-A3J04-O）の概要
資料1-3 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（第四条、第五条、第六条関連）
資料1-4 補足説明資料 16-3 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 遮蔽機能に関する説明資料
資料1-5 補足説明資料 4-1 4条 地震による損傷の防止 地震に対する安全機能維持に関する説明資料
資料1-6 補足説明資料 5-1 5条 津波による損傷の防止 津波に対する安全機能維持に関する説明資料
資料1-7 補足説明資料 6-1 6条 外部からの衝撃による損傷の防止 竜巻及びその他外部事象に対する安全機能維持に関する説明資料
資料1-8 燃料被覆管の周方向応力について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁のマツノです。ただいまより、
0:00:07	型式証明、
0:00:11	本日は安全回避あり、
0:00:14	回答ということで資料用意していただきましたので、
0:00:20	ホテル中心。
0:00:24	ホアシフルヤシモジョウでござい。
0:00:27	今日、
0:00:28	市野内でのコメント回答。
0:00:34	これをメインにして、
0:00:36	ご説明いたします。
0:00:40	箇所等ですね。
0:00:48	1 ページ目
0:00:50	いただきまして、コメント管理表がございます。
0:00:57	2 ページ目の 1 から 5 までは、
0:01:01	これまでの審査会合で受けたコメントを 5 件。
0:01:06	ございます。
0:01:09	ご説明するのが、
0:01:12	一番の、
0:01:16	防災する場
0:01:24	2 番目、2 番目とですね。
0:01:26	あと、5 番目の
0:01:28	コメントに関しましては
0:01:30	今までのヒアリングの場で、
0:01:33	ご回答をしてくれているんですけども、前回のヒアリングでの追加コメントいただいたところを、
0:01:39	回答の方で
0:01:42	3 番につきましてはもうすでにコメント回答。
0:01:50	まず 1 番目の
0:01:53	1055 と 107875 条の混載に関する
0:01:58	見直しと、
0:02:03	ページ
0:02:13	PT2 の方は 15 年度と 15、15、1717 年度と 1055 年で混載できる設計となっているんですけども、
0:02:21	燃料の混載が、各、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	安全解析
0:02:25	の席に及ぼす影響について、
0:02:30	その設計としましては、臨界防止車除熱、閉じ込め
0:02:36	の4項目。
0:02:38	それ。
0:02:41	金さん。
0:02:43	ご説明をいたし、
0:02:45	まず一つ目の臨界防止設計ですけれども、臨界
0:02:54	野瀬アビル。
0:02:58	オカしている。
0:02:58	それぞれの
0:03:01	すべて26、
0:03:07	冠水状態と乾燥場
0:03:10	の場合
0:03:11	それぞれ、
0:03:13	場合ですね、ほぼ同じ。
0:03:15	ことを確認して、
0:03:17	Aですので20
0:03:20	アピール型の体系では、いずれの燃料であっても、
0:03:24	反応度
0:03:25	の体系での反応度ってのはtotoであるというふうに考えて、
0:03:29	このことを確認するため
0:03:33	にの燃料集合体。
0:03:35	6種類の配列について、実効増倍率です。
0:03:40	検討することで、それぞれの
0:03:43	相互作用による影響があるかないかと。
0:03:48	評価した結果を添付の1、
0:03:52	後の資料につきましても、
0:03:54	ヒアリングですすでにご説明した内容になりますので、
0:03:58	詳細につきましては、割愛させていただいてよろしいでしょうか。
0:04:03	それぞれいろんな配置の組み合わせ、
0:04:15	してございますので、臨界防止機能についての影響はないというふうに 考えている。
0:04:22	確認してございます。
0:04:24	2番目に、遮へい設計ですけれども、お酌、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:29	制限共同が
0:04:31	1055 人も 1077 人以上の方が大きい。
0:04:34	ということで 1077 燃料が 26 体収納されている条件について、
0:04:42	その
0:04:43	頭表面から 1 メーターか。
0:04:46	イソダ
0:04:47	する。
0:04:51	混載した。
0:04:57	燃料 26.
0:05:05	9 されると。
0:05:08	目で
0:05:09	設計につきましては
0:05:12	今回、
0:05:13	申請書の中で
0:05:16	申請書の計算結果、
0:05:24	26 体収納されると。
0:05:29	すると、
0:05:30	音を確認して、
0:05:33	らしいです。
0:05:34	燃料費。
0:05:36	被覆管の温度、
0:05:40	この二つの種類の燃料の発熱密度が非常にわずか
0:05:45	17 条の方が大きいんですけどもその差が非常に
0:05:49	ということ。
0:05:50	15
0:05:54	神戸、
0:06:06	に包絡される
0:06:08	を確認して
0:06:11	除熱
0:06:14	を燃料を
0:06:15	搭載した場合
0:06:17	も今、現状を代表として実施している 17 年以上の、
0:06:22	結果
0:06:24	と、
0:06:28	4 番目の閉じ込め設計につきましては、10 名

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:33	それぞれ 26
0:06:36	コウノケース
0:06:37	で、
0:06:41	評価を、
0:06:44	それ、
0:06:58	ヤノをですので老年量を混載した場合であっても、
0:07:04	範囲内で
0:07:08	金さんより影響はない。
0:07:10	ことを、
0:07:15	一番その人は、
0:07:23	ターゲットで、はい、SARRY
0:07:25	社員だけ。
0:07:29	当市
0:07:30	2 ページ目の、
0:07:32	先に審査会合、
0:07:41	と、4 番目ですね。
0:07:43	自然現象。
0:07:47	いただてる。
0:07:50	竜巻の、評価の、
0:07:52	設計基準時、
0:07:53	磯井岡。
0:07:56	衝撃回収を設置。
0:08:01	設計、
0:08:02	地域
0:08:04	で、
0:08:13	はい。
0:08:18	14 ページ。
0:08:23	14 ページで、
0:08:26	審査会合のコメントNo. 4 の、
0:08:34	え。
0:08:35	PK26 型はもう輸送貯蔵兼用、
0:08:39	から輸送容器の立派な試験条件の評価条件にある 0.3 メーター。
0:08:54	装着し、
0:09:05	配布した、集中
0:09:11	それらの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:16	構造、
0:09:30	三次の側面に左右する荷重値、
0:09:41	オオウチアノフランス側面に作用する。
0:09:45	元の振り分けを、
0:09:54	一方津波荷重は、
0:09:59	ナツメ、
0:09:59	8
0:10:02	アノ設計荷重は、これらの
0:10:06	参与、
0:10:06	15 フォーラム
0:10:13	プランジ側面に作用する。
0:10:14	最後は
0:10:19	県有キャスク告示より漂流物としては質量 100t級の船舶を、
0:10:28	規定されている。
0:10:31	牧の方。
0:10:50	津波、
0:10:55	作業範囲。
0:11:04	の採用は、
0:11:08	大木。
0:11:10	荷重が同じ場
0:11:12	ですね作用。
0:11:13	作用は、範囲が狭いほうが、
0:11:20	ここではですね。
0:11:27	設計管理、設計荷重の作用
0:11:29	後、
0:11:50	竜巻荷重につきましてはトラック
0:11:54	対応する。
0:12:02	竜巻勧誘。
0:12:09	竜巻会場、
0:12:19	行っていただきまして、
0:12:23	で、
0:12:24	井清による違い。
0:12:26	による、
0:12:27	適用性
0:12:29	設計会社の適用性について、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:34	次の 4-3 に示しますよね。
0:12:37	設計荷重作用時、
0:12:39	と、津波荷重、
0:12:41	13 時。
0:12:45	括弧の、
0:12:47	設計荷重として、
0:12:52	の考え方。
0:12:53	2.3
0:12:54	%水平ロッカーの条件
0:12:57	を想定して、
0:12:59	横向きの姿勢で、
0:13:01	荷重物件
0:13:03	一方貯蔵キャスクとし、
0:13:08	の状態で、
0:13:13	本期間、
0:13:15	最後は、
0:13:16	姿勢が違う。
0:13:20	安井。
0:13:22	径方向の荷重、
0:13:25	雰囲気になる。
0:13:26	インフラディスプレイ
0:13:29	等を二つ
0:13:30	中央ホール、
0:13:35	違いとしましては
0:13:36	方向の回収が、
0:13:39	津波荷重、竜巻荷重、
0:13:42	が採用すると。
0:13:43	10 番。
0:13:44	そうですね。
0:13:46	20 が
0:13:49	来週、
0:13:51	の採用時には筑豊。
0:13:54	なさい。すいません。
0:13:56	しかしながら自重による荷重の
0:13:59	荷重は設計荷重の約 25 分の 1。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:03	で、
0:14:04	設計会社、
0:14:06	小さい。
0:14:10	イセ評価への影響はない。
0:14:14	従いまして、
0:14:17	投光器。
0:14:19	姿勢の違いによる評価。
0:14:22	井清による違い。
0:14:24	による
0:14:25	影響はない。
0:14:30	ないということを、
0:14:32	とは、
0:14:38	はい。
0:14:44	ちょっと遮へいの方は後回しいたしまして、
0:14:47	審査会の 1 ページ、2 ページ目の方のもと、
0:14:52	残りの回答コメントの内容につきましては、
0:14:57	遮へいに関連するところありますので、
0:15:02	後で、
0:15:03	止めても、
0:15:06	ます。
0:15:08	その次の 3 ページ目。
0:15:13	通常のヒアリングで受けたコメントの管理表に、
0:15:21	グレーのハッチングをかけているところはすでにサイトウが終わっているところで、白になっているところが、本で本日サイトウと書いているところが、今日ご説明する内容になります。
0:15:34	4 ページを、
0:15:35	4 ページにおきましてコメント番号、左側のナンバーの
0:15:43	3-6 ですが、これもちょっと遮へいの遮へいに関連する。
0:15:49	該当になりますので、
0:15:52	後程まとめて、すいません。
0:15:57	本の 2 と 5-3 につきましても、
0:16:01	と遮へいに関連する。
0:16:05	なりますので、
0:16:07	5-2 号のサンゴ-4 ですね。
0:16:12	本郷。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:14	5のシリーズはすべて遮へいに関連する。
0:16:18	ますので、後で、
0:16:20	ちょうど後でまとめていく。
0:16:23	させていただきます。
0:16:24	5ページ目の方の真ん中の辺りに、
0:16:29	コメント番号の
0:16:31	5番。
0:16:32	のがあります。
0:16:35	これ
0:16:37	町さん、原因といいますか満車にも関連するんですけども修正者剤の水素現存量と関連する。
0:16:46	ます。
0:16:47	やっぱその水素減
0:16:49	を評価し、の導出過程を追加してくださいというのが前回いただいたコメント
0:16:56	になります。
0:16:58	これにつきましては、30、このパワーポイント資料の34ページ。
0:17:05	です。
0:17:14	34ページで、今回追加したところは、赤で書いてございます。
0:17:23	この上の方で、
0:17:27	発生ガスの分析結果をベースに、
0:17:31	水素濃度、
0:17:33	現存量というのを評価をいたしました。
0:17:38	で、それに対して、
0:17:43	水素もですね。
0:17:46	それと、実際の、
0:17:48	支援等から、評価した水素の現存量というのが、
0:17:54	表の6-3の
0:17:57	右下で、赤枠で囲っている。
0:18:02	値が、
0:18:04	知見から、
0:18:07	評価を、
0:18:08	で求めた。
0:18:09	SWISSの皆さん、
0:18:12	それと比較する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:16	水素の
0:18:19	遮へい、それに対して
0:18:21	土砂遮へい解析で用いている。
0:18:25	水素の減損率っていうのが、現存量があるんですけどもそれをどうい うふうにして求めていますかというのが、前回のご質問の内容
0:18:37	等赤いところですけども、水素の原則をその場合の、
0:18:42	的に引き上げた。
0:18:43	水素減損物を、
0:18:45	構造として、車解析、
0:18:47	ますけれども、その場合の水素現存量は、SWISSの最低保障密度、
0:18:52	に対して、
0:18:54	パーセンター
0:18:56	の減損率を掛け算、ごめんなさい。
0:19:03	えーと、
0:19:04	遮へい解析で評価している水素減損率を掛け算して、
0:19:11	顔をしております。
0:19:15	に囲んである。
0:19:19	鍛冶関係ある。
0:19:22	その表の中で、
0:19:46	ネット管理表の方に、
0:19:49	まわして、
0:19:59	いたしました。
0:20:00	研修は、
0:20:04	7 ページ。
0:20:06	一番につきましてはほぼ、
0:20:09	頻繁の、
0:20:10	情報ルームの健介さん。
0:20:12	別途、
0:20:21	事象 8 ページ。
0:20:30	これは
0:20:32	ボロンありの、
0:20:34	バスケット材料の本アルミの説明資料。
0:20:38	に対する、
0:20:40	ごめん。
0:20:41	でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:46	内容はですね。
0:20:50	文章の説明が、図中のどこの箇所。
0:20:55	ことを記載しているのか。
0:20:58	その対応がわかりにくい。
0:21:01	それを、
0:21:03	この部分、野瀬
0:21:05	ほか、
0:21:07	わかりやすい。
0:21:16	ηそれはですね、ちょっと資料別の資料に飛びまして、資料1-2。
0:21:25	高速。
0:21:28	本日の資料、
0:21:34	そのの、
0:21:37	7ページ。
0:21:45	でこの7ページの資料で、赤字で書いてあるところが今回、
0:21:52	説明の、
0:21:54	ずっと対応するようにですね、図の対応等で、できるだけわかりやすく、
0:22:00	を修正した。
0:22:01	になってくる。
0:22:04	ページはですね、その右側の図で、
0:22:08	DTP線図。
0:22:10	ていうのを、
0:22:13	マグネシウムが析出する。
0:22:18	ヒライのアノ。
0:22:20	Cが谷。
0:22:30	解析結果、
0:22:34	していると。
0:22:38	伸びと、ナンバー1、3、
0:22:41	Bというのは曾我は
0:22:44	元気の
0:22:46	いいな
0:22:50	ほぼ一致している。
0:22:52	うちはアノ道場も違う。
0:22:57	夏場、
0:22:59	きている。
0:23:01	コスト転嫁が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:12	ナツメ。
0:23:17	黒い実線で、違うからと。
0:23:21	三つ線が
0:23:24	外側に大きな強いカーブに徳田
0:23:28	マグネシウムの転換率大きい。
0:23:30	内側から 3%。
0:23:34	遠くするとか、
0:23:39	それぞれの沖
0:23:43	するほど席す開始時間、
0:23:49	具ね添加量が
0:23:58	見方とか
0:24:10	とその説明の、次のですね、8 ページ目の説明につきましては、前回と同じでございます。
0:24:19	図温度一番とんがってるところの損とかっていう、上がババ場合としたら、
0:24:29	休憩
0:24:29	の方が、
0:24:33	PP線図、
0:24:35	から、
0:24:38	9 ページ目の
0:24:41	グラフ。
0:24:44	SNP。
0:24:45	SNPセンスという。
0:24:52	に、データの整理の仕方をですね、
0:25:06	ところがですね、SNP線図。
0:25:09	3、1-41-5 と、
0:25:12	千野さん、日降水の 3%の剤
0:25:15	小関
0:25:16	先生
0:25:17	の傾向が見られ、
0:25:22	河川とか、
0:25:27	グラフの図の中で一番
0:25:30	右側、
0:25:33	オオツカアノ 4 本の線。
0:25:38	横軸に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:40	図では
0:25:41	オカ飽和度ですと、タテツツミ拡散距離という二つの指標で整理
0:25:46	ですけど、
0:25:47	二つの指標で、
0:25:50	と。
0:25:51	同じ。
0:25:54	条件で、席数、
0:26:00	マグネシウムの添加率が違う
0:26:04	条件。
0:26:08	でもこれらの方、
0:26:10	このSFP線図の見方と解釈については、次の
0:26:15	ページ、
0:26:20	ここはちょっと赤、
0:26:23	もう一度、
0:26:25	佐瀬。
0:26:28	SFP線図は、
0:26:30	TP線図の下飽和度と拡散距離を用いて再生再整理。
0:26:39	についての詳細
0:26:47	で、その左の図にですね、平成
0:26:50	青、
0:26:54	先ほど
0:26:56	条件の線が、
0:26:58	オーバーラップしていると、清の
0:27:01	原点
0:27:03	パチンコ原点が悪い。
0:27:07	編集は分析する、しません。
0:27:11	方の8掛けた原点と反対側の領域では、
0:27:20	いうそういう領域
0:27:25	で、この図中に示す、
0:27:32	難関1、
0:27:34	と、
0:27:36	1本、
0:27:37	この
0:27:39	赤い実線ですね、一番うちが何か一線
0:27:43	以上ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:45	平成
0:27:47	中で、
0:27:50	グラフの中での、
0:27:58	2、
0:28:00	財源、安全側の評価となるように、
0:28:03	日程を
0:28:04	で、
0:28:06	それ。
0:28:10	この各温度における
0:28:12	産業
0:28:18	75度、
0:28:20	確認すること。
0:28:21	四つの代表点を、
0:28:36	ます。
0:28:41	このSNP線図の中
0:28:44	基準線、
0:28:45	小関深井イセ
0:28:48	の、
0:28:50	水色のハッチングの領域に来ている。
0:28:54	ますので、
0:28:55	実際の
0:28:57	材料がキャスクで使用されている条件。
0:29:01	あとマグネシウム野瀬
0:29:11	なおですけれども、九州、
0:29:14	後述しておりますけど
0:29:17	協力の設計
0:29:18	をした。
0:29:19	材料っていうのは、
0:29:21	マグネシウムの添加量が
0:29:23	1点。
0:29:30	意見。
0:29:31	%っていう
0:29:35	の、レンジの1、
0:29:37	下限値。
0:29:39	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:43	パーセンター
0:29:46	なんか、
0:29:48	そういう
0:29:50	最低の
0:29:51	ものを材料を使って、
0:30:05	それって、
0:30:06	コメント。
0:30:07	資料 1-1 の方に、
0:30:09	思います。
0:30:15	31 年に、
0:30:17	方向性、回答ご説明いたしました。
0:30:22	9 ページ目に参りまして、
0:30:24	32
0:30:26	になります。これも、バスケットに使っているボロンアルミ材の
0:30:31	対する、
0:30:35	これはですね。
0:30:37	至り込める内容は、
0:30:40	概要のパワーポイントのシールを
0:30:49	どうした
0:30:54	データがですね。
0:30:55	オク 50 \$ で、
0:30:57	代表をして書いていたんですけれども、
0:31:00	25 とか、
0:31:01	75 のデータについても、
0:31:04	全部すべてのデータを掲載してください。
0:31:08	これにつきましてはこのコメント回答資料の 47 ページ。
0:31:16	47 ページ。
0:31:22	17 ページは、
0:31:30	中で、
0:31:31	120 ごとの試験データに対する
0:31:35	を追加
0:31:39	ページも、
0:31:41	25 ですけれども先ほどのページは、
0:31:44	0.2%ダイレクト引っ張り。
0:31:46	48 ページは 125 メーターでの日とし、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:51	追加をいたしました。
0:31:54	49 ページ、4、50 ページにつきましては前回の指導で、代表として野瀬ニッタ 150
0:32:02	メーター
0:32:03	ます。
0:32:05	51 ページと 50 ページが 175 度のデータになっております。151 ページが 0.
0:32:13	%タイムでと、引張強さの
0:32:18	最後の 52 ページが、
0:32:22	伸び都市部の
0:32:24	グラフになる。
0:32:26	あります。
0:32:27	今度は、もちろん、温度が違っててもですね、あのグラフ
0:32:31	傾向というのは、
0:32:34	同じ。
0:32:34	現行の
0:32:36	でございます。
0:32:49	9 ページ目のコメント管理表の方に戻りまして、コメント番号 33 番のコメント番。
0:32:59	これは自然現象の、
0:33:02	はい。
0:33:03	ウタていただいたコメントで、
0:33:06	人による損傷防止の
0:33:12	設置化基準規則への適合性の表でNSD以外の部隊、
0:33:16	については参考する呉企画が、
0:33:22	についてはその記載がない。
0:33:35	ます。
0:33:36	それにつきましては、
0:33:39	パワーポイントの資料、資料 1-3
0:33:46	です。
0:33:49	自然現象に関する、
0:33:52	構成の概要のパワーポイント資料をご説明した際にいただいた。
0:33:59	1 の資料 1-3 の 9 ページですね。
0:34:06	ページ。
0:34:09	地震による損傷防止。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:12	審査ガイドの、
0:34:14	に関しての確認内容。
0:34:16	3月3日
0:34:22	ホデアノ伝熱フィン、赤で書いているところです。
0:34:26	根井SEは野瀬建設局補佐
0:34:28	にして安全。
0:34:34	かお出しました。
0:34:39	コメント管理表の方に戻りまして、40、あと34番になります。
0:34:45	これも同じく自然現象関連の
0:34:50	いただいたコメントで、
0:34:52	コメントの内容は、下部トラニオン及び、接触。
0:34:58	ねじ部ですね。
0:34:59	キャスク容器本体。本体側の、
0:35:02	評価結果は、評価部位の省略せずすべてパワーポイントの資料に記載すると。
0:35:14	70、資料1-3の
0:35:18	資料の11ページになります。
0:35:24	詳細に説明した
0:35:26	ワードの
0:35:27	補足説明資料では
0:35:43	-5
0:35:50	赤で書いてある。
0:35:53	B断面とC断面、
0:35:55	のを、
0:35:56	もう、
0:35:57	すべて、
0:36:01	ます。
0:36:09	コメント管理表の方に戻りまして、コメント番号が35番のコメントになります。
0:36:17	コメントはですね。
0:36:18	津波による損傷防止及び外部からの衝撃による損傷防止に関する資料に記載の、
0:36:25	設計荷重を満たさない値が申請書の方に記載されている値と、なっています。
0:36:34	この数字について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:41	つきましては資料 1-3 の資料で、
0:36:46	17 ページ。
0:36:59	そのこの表の 1-5 のですね、
0:37:03	津波荷重と設計荷重の比較表の中で、設計荷重を、
0:37:10	あたりが 2.88 とか 14 条、
0:37:15	話題になっております。
0:37:17	前回のですね、ご説明した時に、ここの記載値が申請書値、
0:37:23	違う値が書かれていましたので、
0:37:27	それを確認すること。
0:37:29	検討いただきました。今回の 2.88 掛け 10 乗kNという値は申請書に記載され、
0:37:42	前回ご説明資料でちょっと確認不足で、
0:37:47	ここはです。
0:37:50	ちょっと大きな値になったんですけども、これ設計の基準値に相当する、
0:37:54	積
0:38:03	申請書
0:38:06	なので、
0:38:08	と。
0:38:11	形で、
0:38:15	アベ、
0:38:16	修正をさせて、
0:38:26	23 ページ。
0:38:30	ごめんなさい。
0:38:33	竜巻、
0:38:38	23 ページの方で、
0:38:40	竜巻の会場につきましても表の 6 の 2 点。
0:38:44	設計改修。
0:38:45	については
0:38:47	津波の方で
0:38:48	イシタ設計、
0:38:50	あと、
0:38:55	嫁がです。
0:39:00	23 ページの右側の、
0:39:03	図ですね、キャスクが縦置きになっている

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:06	U字の部分に、矢印、
0:39:10	竜巻で飛んでくる、設計飛来物の荷重、
0:39:14	が 8.5 を掛け、 10^{-3} 乗kNという形になってございます。ここのパワーポイントの方の資料で書いてある 8.5×10^{-3} 乗という値は、これは正しい値でございます。
0:39:29	で、申請書の方ではですね、出した数人の方に記載してた値というのが、8.45 っていう
0:39:38	845 掛け 10^{-3} kN
0:39:41	イワタニ。
0:39:42	申請書の方では記載してございました。その 0.1 の差がですね、
0:39:49	飛来物。
0:39:53	時の荷重が 8.45 掛け中の所、
0:39:56	13 条。
0:39:58	あと、その 0.1 掛け 10^{-3} 乗っていうのは竜巻の風圧ですね。
0:40:04	部分が 1 億ありまして、それを合計すると 8.55。
0:40:10	ます。
0:40:11	ですので、
0:40:12	8 点、その設計荷重と直接比較する荷重の値としては 8.5、13 条というのが、直接的に比較する値としては、
0:40:23	適切な
0:40:27	なります。申請書の方にはですね、飛んでくる設計飛来物の
0:40:33	荷重というちょっと注記をつけて書いてありましたので、申請書自身はですね、に書いてある 8.45 っていうのは
0:40:40	間違いではないんですけども、ただその設計荷重と直接比較する荷重の値としてはやっぱりちゃんと負圧と、飛んできた飛来物の合計の値を書いておくというのが、
0:40:52	適切だと思いますので、これにつきましては、補正をする時にですね、申請書の方の書いておられたよう、8.55 という値に、
0:41:02	補正をさせていただきたい。
0:41:04	考えてございます。
0:41:11	と、
0:41:13	コメント管理表の方に戻りまして、
0:41:16	36 ページになります。
0:41:23	6 番
0:41:26	この 36

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:27	頭、同じく自然現象に関連する指導のコメントで、地震の損傷防止に関する説明資料で、
0:41:38	下部トラニオンのメネジ分のシアツの評価を追加することと、
0:41:45	とか、
0:41:47	コメントの内容でございます。
0:41:52	これの値はですね。
0:41:56	さっき
0:41:59	沖さん。
0:42:02	資料の1-5。
0:42:06	地震に対する安全に関する、
0:42:10	説明し、
0:42:14	ご説明させて、
0:42:16	ます。
0:42:20	市野。
0:42:21	河野氏、
0:42:31	別紙1の8ページと、ふうになります。
0:42:40	ページがわかり、真ん中の辺り。
0:42:49	赤で書いている、bポツでシアツ応力、
0:42:53	項目を追加して、
0:42:55	トラニオンを、キャスクを縦置きにちょっと置いて、トラニオン。
0:43:03	固縛して、
0:43:04	固定する。
0:43:08	要望になります。その時に、トラニオンを、
0:43:12	イシタに抑え込むこと。
0:43:14	メネジ側+の本体側がですね、その下の方、
0:43:19	トラニオン二次を受ける。
0:43:21	面に荷重がかかると、その部分、
0:43:24	もう4月の荷重を
0:43:27	浅井トガシてください。
0:43:31	急便停止位置は9ページ
0:43:33	ところで年20日中、
0:43:39	Su。
0:43:42	設計費。
0:43:45	で、
0:43:46	別紙1の10ページで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:54	評価基準としては 3、
0:43:58	で、
0:44:06	問題ない。
0:44:07	と。
0:44:22	以上で布田さん、二瓶伊賀委員、あと、中間の件以外の説明は以上になります。
0:44:34	今、20、
0:45:03	7 ページ目で、
0:45:05	いろいろ、
0:45:16	2 回か。
0:45:21	の中でちょっと、
0:45:24	再度確認なんですけども、
0:45:29	ロット。
0:45:32	苦戦はする。
0:45:34	キタノ凡例に、
0:45:36	書かれてあって、
0:45:38	マグネシウム。
0:45:40	増えたところ、
0:45:44	それはそれぞれ、
0:45:46	それぞれ
0:45:49	プロットした点は、何のプロットを下手に、
0:45:55	3 角とかもあるとそうです。これ
0:45:58	試験した事件、D 了点学区のプロットで、
0:46:05	それを、
0:46:08	その実験結果のプロ
0:46:13	何の結果が示されてるっていう。
0:46:16	生かして、
0:46:18	えっとですね。
0:46:20	この
0:46:21	TPP 線図っていうのが、
0:46:24	タイム天ぷらチャープ利子ビテーション
0:46:26	析出。
0:46:28	開始。
0:46:30	時点の、
0:46:31	条件を示しています。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:34	で、
0:46:35	コウノ、
0:46:37	天プロット事件の病棟、
0:46:40	試験結果から計算した値が
0:46:43	丸とか三角とかでプロットされてるんですけども、そのポイントで、
0:46:49	縦軸と横軸が時間で、縦軸が温度を示していますけれども、その温度と時間の条件で、
0:46:58	ポイント、例えば、白丸のポイントの、その条件で、析出。
0:47:04	が開始する。
0:47:06	そういう条件、例えばこの三角なんかがですね、地域のグラフを見ると、3ヶ所
0:47:15	はい。
0:47:16	これ関。
0:47:18	羽石。
0:47:20	という理解そうです。析出。
0:47:23	を開始し始める時始める前、今回の場合ですと、
0:47:29	とあるぬ導電率っていう、
0:47:32	電気は電気抵抗といいますか電気の流れやすさ、それは析出えっと、マグネシウムがたくさん雇用していると、抵抗が大きくて、流れにくいんです。
0:47:43	析出が進むと、ナカのその雇用元素が減って、
0:47:49	電気が流れやすくなるっていう、そういうちょっと
0:47:53	特性がありまして、その導電率の違いから、導電率のその比率が10%、
0:48:01	変わったところを接種開始というふうに、データを整理して、評価をしていますですから、赤いポイントでいきますと、
0:48:11	一番下の件ですと、
0:48:13	大体でしょう。
0:48:15	7000 時間とか、横軸で 7000 時間で縦軸で 120 とか 125 と 125 とかなの値で 7000 円。
0:48:25	とか 8000 時間ぐらいを、
0:48:28	保持したが、そういう一部の間にシバ析出をして、
0:48:34	積載して強度が
0:48:36	落ちてくるかっつうポイント。
0:48:39	を示しているということですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:42	それは温度、時間の組み合わせで変わります。それがそういう、そういうのを、これ実験データとしてプロットしたのは3点ですけども、まずそれを
0:48:54	ちTV線とそれをちょっと、
0:48:57	基本、理論式的に評価した、あと実験データを
0:49:04	ベストフィットカーブで、
0:49:08	結びますとこういう赤い線とか黒いですね、なんて。
0:49:11	末子型の、
0:49:16	わかりました。
0:49:19	ですねこの、
0:49:22	実践の、
0:49:24	線の、
0:49:28	線よりも右側、
0:49:30	内側にあります右側といいますか、の条件では析出している。
0:49:36	ディス支出すると。
0:49:40	Cカーブの外側、そ上でもいいですけど外側では、
0:49:46	積雪、
0:49:48	していない。
0:49:50	析出する信頼の
0:49:54	曲線の外側と違われ、
0:49:57	判断できるっていうのはそういうことで、ちょうどちょうどこのCカーブの線の上でちょうど析出し始めるところの線を結ぶところイシイか。
0:50:07	わかります。
0:50:22	見方で、
0:50:29	なんですけども、
0:50:33	評価の1の間、
0:50:38	安いよ。
0:50:39	補助金。
0:50:40	カセ最大で、
0:50:43	安全側の評価になる。
0:50:49	最後、
0:50:51	海田委員、安全評価
0:51:04	最後のポツのところだけがなんか読んでて、
0:51:11	被害が、
0:52:09	確かにあとちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:13	こちらで作った資料。
0:52:16	ちょっとナカ左側。
0:52:58	いいですか、ちょっと状況をちょっと、
0:53:03	神戸製鋼シノザキの方が、彼の方がちょっといろいろ主担当でまとめていくと、すみませんこの表現、確かに今私がすぐに、
0:53:15	ピンとちょっと書いてる、作ってる。
0:53:20	わかったみたいなんですけど、ちょっとちょっと次の審査会合の資料の時には、もう少し言葉を補足して、表現ちょっと見直しをいたします。
0:53:39	ページ目。
0:53:44	いろいろと、
0:53:49	は何か。
0:53:50	だから、縦軸は応力でいいです。そうですそうです。そうですよね、クリップ。
0:53:55	もう、
0:53:56	はい。クリップ試験にかける。
0:53:59	試験かかる荷重行為です。
0:54:03	よく言っちゃって、時間ではない。
0:54:06	6時間。
0:54:07	ここに書いてます
0:54:08	断層ミウラパラメーターっていう
0:54:11	資料で、
0:54:14	整理して、
0:54:16	抜粋。
0:54:21	そこに、
0:54:33	すみません、ちょっと。
0:54:34	16ページの、
0:54:36	効果ですね。
0:54:40	の、
0:54:43	6、
0:54:45	2. フィクション. っていうの
0:54:48	は、ちょっと
0:54:49	この場で修正させてください。
0:54:52	す。
0:54:58	ページと同じハタアノ17ページは、
0:55:02	最小クリープ速度、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:04	評価したグラフなんでこっちの方は $-\log$ 。
0:55:09	イプシロンと
0:55:11	中、
0:55:12	6 ページの方は、その隣が浅村パラメータなんですけれども破断時間、
0:55:18	の指標にしたラーソンミラーパラメータで、そのときは、
0:55:22	定数。
0:55:30	で、ラーソンミラーパラメータっていうのが温度と、
0:55:36	時間、
0:55:37	保管数、
0:55:39	なんていうのは、
0:55:40	ROVT
0:55:48	クーポンと時間をパラメ
0:55:51	イシタ
0:55:52	で、
0:56:02	FLIP、
0:56:03	試験データを整理すると。
0:56:06	よくこのLASミラウ
0:56:11	して、温度と時間の
0:56:13	組み合わせで、
0:56:16	直感的に言いますと、温度が高い高いと短い時間で切る。
0:56:21	温度が低いと長時間かかっているというのが、直感的
0:56:27	それを、本当の時間をバラバラにプロットする。
0:56:30	で、違う温度と時間を、試験データを、ラーソンミラーパラメータに、
0:56:37	置き換えて、横軸をラスミウラパーメーターに置き換えて、データを整理するとういう形で、
0:56:46	この、この材料の場合は、おおよそなんていいますかね、直線に近い。
0:56:51	データ整理ができると。
0:56:55	グラフは二次関数で、
0:57:06	なくてその温度と時間を指標にしたプラスミラウ
0:57:18	右側の方に書いてあるNo.20、
0:57:21	14 は大半で、はい。データ整理としては、はい。
0:57:26	1 万
0:57:27	時間で、
0:57:30	評価してるっていう。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:32	はい。
0:57:34	この黒い、ミイハダって書いてあるデータは、
0:57:40	とりあえずイシダ 14、
0:57:43	はい。
0:57:44	このデータを整理した時点ではまだ破断していなくて、その途中で、途中経過の時間で、
0:57:53	そのデータを使って、
0:57:56	データ整理しています。はい。ただ
0:57:59	それは、
0:58:00	保守的な、
0:58:02	強度、クリープ強度を弱く評価する側の、
0:58:05	井清になりますので、その評価自身は、ある程度その破断時間に近づいてきて、他のデータとほとんど、何ていうかな、談合になるといいますか、この
0:58:19	データ群の中で、大体含まれてくるぐらいのところまで試験ができれば、保守的な整理になりますのでその時点で、データ整理をするということも、
0:58:31	あります。
0:58:32	で、
0:58:34	アノミイハダんですけれども、一番時間を超えてるところで、一番時間以上のデータを取られようと思って試験をしていたんですけれども、意識していたんですけれども、
0:58:45	まだちょっと破断するまでもちょっとしばらく時間がかかりそうでしたので、このデータ整理をした時点での、三原のデータを使って
0:58:54	いるということをして、注意書きをして、
0:59:02	ちょっと記載だけ
0:59:05	失礼。
0:59:09	買えるでしょ。
0:59:19	ページ。
0:59:34	12 ページを見ると、
0:59:43	もう
0:59:44	応力評価。
0:59:53	すると。
0:59:54	被災って該当と全然サイン
0:59:58	同じ方に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:05	はい。これ、
1:00:09	書き分けてる理由って何かあるんですか。
1:00:13	それは設計建設規格で同じだからってそういう意味ですよ。能力評価をやってるのであれば、当然設備能力評価をするんで、
1:00:22	いいと思うんですけど。
1:00:24	はい。能力評価という言葉使う。
1:00:26	安全機能。
1:00:28	するっていうこと。
1:00:29	記載してる。
1:00:32	記載に分けて、何か理由は、
1:00:38	さん
1:00:39	通り評価をする。
1:00:41	と思うんですけど、
1:00:51	これを
1:00:55	あと、パワーポイント資料の 12 ページいただきますと、
1:00:59	該当のところは、請求の後 2 点。
1:01:03	Dっていう
1:01:04	FTC
1:01:05	はあります。
1:01:07	は、
1:01:08	ちょっとFTっていう
1:01:10	積消した。
1:01:11	定義されている。
1:01:14	値になるんですけどもそれでいい。
1:01:18	それ
1:01:19	基準値、
1:01:20	評価基準値自身が設計建設規格を
1:01:23	受け、
1:01:24	決めていると。
1:01:26	一方、現実的にはですね、先ほど説明
1:01:29	設計基準自身は、Su。
1:01:32	設定し、
1:01:34	梅雨っていう、
1:01:36	特に、
1:01:40	そういう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:43	そういうので、定義されている。
1:01:45	規定されている。
1:01:47	評価条件ではないんですけども、
1:01:49	NPD自身は
1:01:51	それ自身が、強度部材としては考えておりませんので、要するに伝熱フィンがちぎれなければ、繋がって再ではちゃんと熱を伝えると。
1:02:01	いうふうに考えて、SU、設計、
1:02:04	目的法律が設計を前提と設計引張
1:02:09	Suを基準値にしていますので、基準値としては、設計建設規格の応力、規定されているホール口を使っているわけではないので、
1:02:20	そこはちょっと違いがあるので、書き分けていくということ。
1:02:26	です。
1:02:30	Pのことなんですけどもガイドの方も同じように参考に、それから電熱品を参考にとか、言葉としては同じちょっと表現してしまったんですけど、該当の方はもうちょっと直接的にですね、
1:02:43	この設計建設規格の値、先ほど申し上げたアノ 1.5mpでしたね、アノを適用して、
1:02:51	います。一方で前スキームは今下条が申し上げたようにですね参考にはしたんですけど直接的なものを引っ張ってきたわけではなくて、切れなければいいかということで、SU
1:03:06	というのを、
1:03:07	適用した。
1:03:11	これは 12 ページ目。
1:03:14	はい。
1:03:29	はい。
1:03:32	増設分。
1:03:56	同じ意味合いではないって言いません。
1:04:00	そうですね、基準値と 7 基準値、はい。はい。
1:04:09	基準値に対して何か補足ばらつき
1:04:13	を書くとすれば、先ほど、
1:04:16	そして、
1:04:17	SU、
1:04:21	SU
1:04:46	ちょっと
1:04:59	後、11 ページ目

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:11	B断面、C断面
1:05:14	にしているんですけど、
1:05:17	その左の
1:05:21	なんか多分前回のヒアリング時だと思うんですけど、BとCの、
1:05:24	違いが、
1:05:26	わからないので、はい、色分けして何か。
1:05:30	違いを示すことなんか、
1:05:33	絵を見て、
1:05:34	書き分けることができます。
1:05:38	Cはもう、はい。もう、
1:05:42	はい。
1:05:43	加地です。はい。はい。はい。
1:05:46	もちろんBCDが単純に一位が違うということはもちろんあるんですけど、このエミってすぐわからないんで、
1:05:55	すいません位置が違うというよりはですね断面の
1:06:02	性状が違う。つまり当該
1:06:05	あれ、
1:06:06	リング状になってるわけですけども、そのリングの外径と内径の組み合わせが、このBとCとDで3種類あるということでここでとったんですけども、
1:06:17	はい。特にBとCの違いがよくわからないんですけど
1:06:20	あ、なるほど。
1:06:23	そうすると何か断面の絵みたいな作ってる感じですか。和気とおっしゃったのは、例えばBとCのところ、どこが重複して、これは最後のところだけは違うってことですか、2年の違いは。
1:06:40	断面で見るとここにこの線が引いてあるところを取ってるんですね。
1:06:46	この断面でとって、ここですね、スパッと切ったってことなんですけども、
1:06:53	まっすぐこれ延長先方上に背弧
1:06:57	スパッタリングタダメンですはい。
1:07:01	他にも円筒形状のような形状。
1:07:09	CのところとBの
1:07:11	ちょっと直径が変わってくるところその変わり目のところの断面、
1:07:16	そうすると市民の断面という例の断面で、はい。
1:07:21	Cは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:26	小尾、ここに書いてるからわかりにくいのかもかもしれませんが左側のちょっとへこんでますよね一段、
1:07:34	へこんでるということはないんですけど、その外径が小さくなっているところで見ているという、
1:07:39	あります当然そのおっきいの方が断面係数大きくなりますんで、それがDですね、DCの断面はこの左側のちょっと小さくなった、断面係数が小さくなった。
1:07:52	ものを見えています。1段下がってると。そうですね、さらに喜田砂層ですその通りです。はい、そうです。その通りです。
1:08:03	わかりました。
1:08:05	その境界のところまで今取ってまして、はい。
1:08:09	BとCで何便のため、
1:08:12	違いますはい。BとCで違う技術すべて違う。
1:08:18	絵に書いてあるこの寸法に、何が。
1:08:24	まずDの場合はこれφが1年のちょっと湯田なんですけど左一番
1:08:33	一番、一番大きいものそうですね一番大きいものスミダCですね。はい。
1:08:38	Cがその次の次がC、Dが一番小さい条件ってということになります。
1:08:55	わかりました。
1:09:05	いろんな実装ちょっとわかりにくい。
1:09:07	だけど、
1:09:23	あと数字はいらなかなっていう。
1:09:31	四角がちょっと邪魔じゃなくて、
1:09:34	そっか。
1:09:37	私からできるだけ、
1:09:46	で、
1:09:48	余計それがちょっと図を見にくくしているというのは確かに
1:09:53	これ渋谷さん。
1:09:56	ヤマシタ。
1:09:59	駄目を示す。
1:10:02	なるほどね。そこで切ってますってことです。
1:10:05	はい。
1:10:10	ちょっと
1:10:11	確かに
1:10:11	ヤスダからすると、全体図ワークしちやったほうがわかりやすいのと、今ちょっと山田の方から申しあげましたようにその評価してる段目。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:24	波線をですね。そうですねだ、この断面だという
1:10:27	上の方も、
1:10:29	カセを伸ばすと。
1:10:48	はい。その通りです。
1:10:50	梅木。
1:10:52	その通りなんです。はい。
1:11:02	石毛。
1:11:05	作っては、
1:11:10	そう。
1:11:18	そういうふうになってる。
1:11:25	すいません。
1:11:28	はい。
1:11:37	はい。
1:11:40	そう。そこはいはいっておっしゃってます。
1:11:45	4月の考え
1:11:49	は、
1:12:18	画面が光らない。
1:12:28	安うとして表。
1:12:35	民衆の部分はどうか。
1:12:43	それは
1:13:15	すいません
1:13:18	もう少しもう一度ちょっと説明いただいてよろしいですか。はい。
1:13:29	はい。
1:13:56	その通りです。
1:14:04	C1の、
1:14:12	鎮目。
1:14:25	ウチヤマ
1:14:29	カミヤ。
1:14:39	吉安。
1:14:47	どちらが
1:15:01	色をつけたせい。
1:15:16	山野。
1:15:28	しやすいというか、
1:15:39	という以前にそっちの方が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:50	お考えですか。董事長としてはそれは多分メネジ等のねじの山同士のぶつかり合いってというのは、
1:15:59	圧縮というよりはそこそれこそがせん断というふうに考えられるんじゃないですか。
1:16:05	違いますか。
1:16:06	支援だもん。
1:16:09	年ももちろん根本なんですけども、
1:16:24	ニシウラ品、
1:16:39	うん、レジアマノ潰れるっていうときは、
1:16:47	うん。
1:16:47	うん。
1:17:04	あ、あの、すみません。
1:17:06	PMシモジョウですが、
1:17:11	その本音さんのおっしゃる、
1:17:14	圧縮によるシアツというよりも、ねじを、ねじを締め込んでいって、例えば、ねじ山がつぶれるとかいう場合は、
1:17:26	ここでも別紙 1-7 で書いてるように、
1:17:31	ここの、このせん断によってネジが潰れるっていう現象なんだと。
1:17:37	思うんですけれども、
1:17:39	圧縮によるシアツというよりはせん断の方じゃないかなと思うんですけど。
1:17:46	違いますでしょうか。
1:17:48	いや、こっちがね。
1:18:03	農作業だね。はい。
1:18:08	すべての
1:18:09	ずれるといいます。
1:18:12	ねじを閉めて、
1:18:16	これ今図ではオレンジと、明治はぴったりと重なってるんですけど実際はものとしては、一回りというかちょっと、ちょっと隙間があって当然
1:18:28	ねじ側の方が小さいですよね。ですんで隙間があるからそのぶつかるという状況がもしあるとしたらですねそれは、
1:18:42	この辺は、片面あたルーでしようけど全体が当たるってことは多分なくてやっぱり力がかかるのがこのせん断って書いているところの根本の部分になると思うんですね、力がかかる。
1:19:02	っていう

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:33	結城委員。
1:19:47	どうぞ。
1:19:50	いいです。
1:20:50	はい、木場にあります。
1:21:01	私は、
1:21:03	急についていうこと。
1:21:10	社員が、
1:21:13	はい。読めば、はい。ちょっとお待ちください。
1:21:20	0
1:21:23	規制庁になってる。
1:21:27	D、
1:21:28	遮へい以外、こちらから、
1:21:32	記載確認。
1:21:34	させていただきましたけども、
1:21:37	励ます説明に入る前に、
1:21:40	県以外では、
1:21:42	何か、
1:21:52	じゃあ、
1:21:59	仕事。
1:22:00	資料の1-1のコメント。
1:22:06	管理表の中で遮へいの
1:22:09	遮へいについていただいているコメント等についてご説明いたします。
1:22:14	2ページ目で、1から5番の中での審査会合で受けたコメントがございます遮へい関係で言いますと、2番のMCNPコードの
1:22:25	と、あと5番の、そのMCNPで評価した、2人フラクテーションチャートについての説明というのが、審査会合でコメントとしてございます。
1:22:37	これらのコメントにつきましては、3ページ以降のヒアリングで受けているコメント管理表の中に含まれますので、
1:22:47	ヒアリングのコメント管理表の方にしただって、遮へいの回答を行いたいと思います。
1:22:57	コメント管理表の4ページ、管理表の1-1の資料の4ページ目になります。3-6です。
1:23:09	MCNPのですね統計指標の変動例の図網の平均値の図があるんですけども、そのデータに誤差の変動幅を入れるというよりわかりやすい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:20	ことで追加を検討すること。
1:23:24	蟹江。
1:23:25	コメントいただいております。同じ資料の 21 ページになります。
1:23:39	21 ページで、
1:23:42	ここアノぱりフラクテーションチャートのエンドウちゃんとの、
1:23:45	評価に、
1:23:46	を説明しているところで、
1:23:49	21 ページの括弧A-2、平均値ですね。
1:23:54	平均値が
1:23:57	当初、ばらつきが、ぎざぎざ大きかったのがだんだん、
1:24:02	ランダムに変化するというのが示されています。それも
1:24:08	転任。
1:24:10	変動幅、誤差の幅を追加したほうがわかりやすいということでご指摘いただきまして今回、
1:24:18	±1σ分の誤差をこの中で表追記をしてございます。
1:24:39	はい。次が、コメント管理表の方の 4 ページのコメント管理表に戻りまして、
1:24:46	どこの、
1:24:47	2 番。
1:24:50	5-2 号の 3、
1:24:53	5-4。
1:24:54	この後ですね、ここNCNPの
1:25:00	についての
1:25:02	説明し、
1:25:04	についてのコメントをいただいているところ。
1:25:07	5 のコメントにつきましては、加古椎野物理的モデルエレメントさんの項目には原子力学会標準では、実験データまで、
1:25:20	それ、実験データをそろえるところまでっていうのがエレメントさんの
1:25:26	だけれども、今回ご説明する中でベンチ、
1:25:36	そこは、
1:25:38	違っていると、全く参考にしているということなので全く同じじゃなければならぬということではないんだけど、間違いがあることを、
1:25:48	ちゃんとわかるように、
1:25:50	説明
1:25:52	補足してください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:57	それ。
1:26:01	ポイント資料の 25 ページ。
1:26:03	あります。
1:26:09	MCNPを
1:26:13	説明をしている中の(3)番。
1:26:16	物理的モデル化の
1:26:19	固定エレメントさんの項目。
1:26:21	県アカセ会
1:26:23	フォロー、
1:26:24	次、
1:26:36	等の整備までであり、
1:26:41	鷺見横尾川名シミュレーションモデルでは、
1:26:55	等もあわせて記載をした。
1:26:59	で、
1:27:02	学会標準とを説明している項目。
1:27:06	違う。
1:27:08	ことを、
1:27:14	表に戻りまして、
1:27:16	4 ページの 5-3 になります。
1:27:48	と、
1:27:58	ましては、
1:28:04	ちょっとこのコメント回答の資料には直接ちょっとございませんで、遮へいのですね、補足説明資料の方、
1:28:15	見ます。
1:28:37	塀の補足説明資料、資料番号が 1-4、資料 1-4 の、
1:28:43	後ろの方で別紙の 49 というページになります。
1:28:49	えっと、別紙 4 の 9 ページ、ここに説明資料の方で書かれてた内容についてのコメントでしたので、パワーポイントの資料には、
1:29:00	ございませんでした。
1:29:04	ベッショ-9 のところで
1:29:09	(シ)の安全解析条件の報告についてという項目がありまして、その中で、
1:29:18	いかに安全解析上考慮されている物についてまとめると。
1:29:22	なお、実測値と解析結果との差異の要因としては、下記に示す。
1:29:30	項目条件以外に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:34	検出器、角度依存性実験では、実験で、実測ではうち中性CMカウンターの形状に合わせて構成された線量と、線量変換係数が使用されている。
1:29:47	ということで表面線量当量率と中性子のれんカウンターのサイズを受けて表面容器表面の正確な線量率を増す計測ができないというようなそういう条件の差異というのも考えられるが、
1:30:00	安全解析で保守的な解析結果を得るために設定するような条件は、以下に示す確認します。片括弧イチカワさんの条件であると。
1:30:11	で、前書きを追記させていただきました。で、そこで前書きで書いたところ、書いた部分につきまして
1:30:21	もともとはずね、別紙4の10ページの方で、123の後に書いていたんですけれどもその部分については削除させていただきます。
1:30:38	そのような形で資料を修正させていただいてございます。
1:30:44	コメント管理表パワーポイントの1-1、資料のコメントの5-4ですね。
1:30:50	いただいたのが、
1:30:54	Tn12を2つという形のキャスク。
1:30:57	について、
1:31:00	文献ですね。
1:31:01	文献で
1:31:03	説明されているんですけれどもその点12-2というのが、実際に運用された容器であるということを追記した方が良いという趣旨のコメントをいただいております。
1:31:18	先ほどの補足説明資料でいきますと、先ほどの別紙の4-8ページの方に、
1:31:24	なお書きで、TM12の新潟は、国内の原子力発電所の修繕、燃料をそこで再処理するために、そういう用いられたりスズキであるという趣旨の内容を、
1:31:36	危惧してございます。
1:31:39	この回答資料のパワーポイントの資料では、その部分は、
1:31:46	26ページ目のところで、えっとさせていただきます。
1:31:52	同じくパワーポイントの同じ資料1-1の、
1:31:58	パワーポイントの26ページになります。
1:32:02	本資料の中では注記を、(1)、
1:32:05	いうので、Tn12分にかた一運営に注記1をつけて、同じ国内の原子力発電所の使用済み燃料を普通で再処理するために、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:15	ための輸送に用いられ谷スズキであると。
1:32:18	で、追加をさせていただいております。
1:32:25	コメント管理表で5-5番、5ページ目の5番です。
1:32:35	えと遮へい機能に関する補足説明資料で、また安全解析条件に加えて可能な範囲で保守性を排除し実測値を、
1:32:47	を再現する呉会を算出云々という記載があったんですけども、その記載については、どういう意味ですかという趣旨のコメントをいただきまして、これは
1:32:59	ご指摘を受けた場で、これちょっと編集人を消し忘れといいますか、集も0でしたので、削除するというごさございました。
1:33:09	そこの記載につきましては、今回の説明資料では、
1:33:14	削除しておりますが、ちょっとすいません先ほどからご指摘ありました、ちょっと見え消し版のような形になってないのでちょっと削除したところがどこかというのが、ちょっとその、
1:33:25	資料だけには単独ではちょっとわかり、
1:33:29	わからない。
1:33:32	ます。
1:33:41	よくや、多分これ、前回の資料と比べればいいんでしょうけど、ページがずれてくるじゃない。はい。
1:33:49	追加すればそうすると、だんだんどこにいつてるか、安楽なんて、
1:33:54	できれば、新規で入れたところは、
1:33:57	赤字に黄色のハッチング、黄色の
1:34:01	ベースの上に赤字で書く。
1:34:04	はい。それで、修正したところは見え消しのところ、
1:34:10	厚生かければ、これはアノです。
1:34:12	でかければ見え消しで追加。
1:34:16	そうすれば、どこを消してどこを足したのか新規で入れたところは、黄色ハッチングになってるんで、はい。わかる。
1:34:25	一番わかりやすい。そしたらこれ、1冊です。
1:34:31	それでOKが我々との間でできたところは、それはそのままミネギシを反映させていけば、どんどん、
1:34:40	追記されたのか追記されてないのかがちょっとわかんないところがあるから、
1:34:45	黒字の文字だけを見ようとして飛ばすと意味がよくわかんない。
1:34:52	ふうにある。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:55	で、
1:34:56	あと、
1:34:57	多分メモられてると思うんですけど、そのの、
1:35:01	メモの指摘事項が、
1:35:03	すてきなはいモリタ
1:35:06	ですと。
1:35:12	ワード、パワーポイントの方は、多分その見え消しとかになってしまうと、
1:35:18	この中にはまらない、入らないです入らなくなるんで、黄色のハッチングだけしてもらえばいい。
1:35:25	追記で入ったところだけです。
1:35:27	修正した箇所が何か金額より黄色ベースのハッチングをかければ、そこを中心に、我々見るように、そうすると、
1:35:38	たくさんある資料の中で、
1:35:40	そこを中心に見れるので、わかります。
1:35:48	あともうちょっと言うと、
1:35:50	コメント欄の一覧、ここには、
1:35:53	一番右に備考欄、補足説明資料 16-3 とかいろいろ書いてあります。
1:35:59	ページ番号振っておいてもらおうと、どこを直したのか。
1:36:03	コメント回答。
1:36:07	それがあると良い。
1:36:09	わかりますからわかんない
1:36:11	それはそこまで書いて、
1:36:14	と、
1:36:15	我々は見やすく、
1:36:20	電力はそうです。
1:36:24	ページ数が非常に高手数料、
1:36:30	どのページっていう
1:36:33	はい。
1:36:39	よりも、
1:36:48	ちょっとやってみて、普通は、
1:36:52	はい。
1:36:55	後、
1:36:58	追加後に、
1:37:00	入れてみました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:03	途中に挟んで足りない。
1:37:05	ご承知なります。
1:37:17	えっと作ることに、
1:37:19	その新しい資料を作り込んだ後で、
1:37:22	その下に世の中に変えた場所のページ数を、
1:37:27	都度都度、
1:37:29	書き込む必要を確認して書き込んでいく必要があります。
1:37:33	いろんなページに及ぶようなものがあれば、重要なところのページ箇所だけでも、
1:37:41	3 ページから 7 ページ、要するに、当初でよく
1:37:47	リビジョンコントロールシートといいますか、はい。
1:37:52	当初の表紙の次に改訂箇所がそういうところに、どこどこのページが変わったかっていうのを書くようなイメージ。
1:38:01	ことをおっしゃられていると思うんですけども、図が、どこまでできるかっていうのがある。
1:38:11	なかなかちょっと、
1:38:18	形。
1:38:21	今野先生。
1:38:22	衛藤。
1:38:23	直したときに、
1:38:27	下司を入れると、もちろんずれます。前回書いたページ数ページが、今回のコメント上入れて書くと、またページがずれるかもしれないので、
1:38:39	毎回毎回、すべて改訂箇所のページは、
1:38:45	キタニムタ。
1:38:46	見直しをする必要があります。
1:38:51	そんなに、
1:38:53	そこはちょっと予想じゃないですか。いずれもこの黄色のハッチングとミュキシワやってもらった方は、両者にとってはいい事欄のところのページ番号 2 日とかは、
1:39:07	2 個のボリュームが少ないので、見ればわかるじゃないんですけど、はい。そこは何ですかね、まずはちょっと、
1:39:17	改定履歴は、次回からは次回の資料に書いてからでよろしいですか。はい。次回の改定からワードの改定履歴を残す。
1:39:26	どんな。はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:28	今まで通りじゃん。これどういう掛け声かって言った瞬間、お持ちじゃないんですよね。前。
1:39:36	それ言われたスケーリングが止まっちゃう。
1:39:49	ただし、
1:39:51	けど、
1:39:51	この、この喜多さんっていう
1:39:55	すみません。
1:40:00	正しい表示をもって、ここ主張ですって言われたからあんまり、
1:40:06	前々回でしたっけっていうことに今まではなっていない。
1:40:11	あとそれが
1:40:13	設置許可とか、
1:40:18	確かにモンマが開いてて、前回のトダテハヤタを行って、
1:40:22	直してきた。
1:40:23	だから、
1:40:26	直し方したら駄目っていう。
1:40:31	追加で入る部分は読みやすいからいい。
1:40:34	直したところがどういう誤解か。
1:40:37	修正があったところ、
1:40:39	文章が足りない部分があったんでこう直し、
1:40:43	回った。
1:40:52	もちろん最後、溶け込みにするのは、小貫。
1:41:00	その反映漏れっていうのは、
1:41:02	ない。
1:41:06	は、やっぱり
1:41:23	進めながら、どうか、また次回以降のヒアリングの中でやりながら、もう少しこうした方がいいとか、
1:41:32	いただければ
1:41:33	回を重ねるたびに、
1:41:39	塗装しました。
1:41:43	表の5の、
1:41:45	5のシリーズ、
1:41:47	説明させて、
1:42:01	あの車両関係はいいと。
1:42:07	質問の方に移らして、
1:42:18	まず最初に、ゴコウさんから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:21	確認してありますお願いします。
1:42:30	わかります。
1:43:03	資料の別紙 4、
1:43:09	これ、
1:43:11	なお、
1:43:25	どういう
1:43:32	ところはですね項目としては括弧Cの項目は安全解析の条件の保守性 って項目になっています。
1:43:40	参照している論文の中では、この廉価ウタのサイズの違い等、論文の 中では、実測値と解析値の差異がなぜ生じるかっていうことを、考察し ています。ディスカッションの中で述べてます。
1:43:56	その時、その項目の中に、そのwebカウンターのサイズですとか、建設 時の角度依存性とか、そういう、
1:44:05	若干の違いがある。それが原因で実測値と解析値はずれが、例えば 何%ずれているかもしれないとかっていうことがちょっと書かれてたりす るんですけども、それは、
1:44:18	検出器の物理的なサイズの制限制約とか、そういうことであって、その 安全解析条件文の中で書いて安全解析条件の保守性とかっていうの は関係、違う話だと思いますので、
1:44:32	それについてはこの、
1:44:35	保守性と、
1:44:37	いうところからは除外しますと。
1:44:40	ということです。
1:44:41	その安全解析条件、論文の中で述べている安全解析条件の中で、実測 値に対して解析、結果の保守性を持っている項目としては、
1:44:53	(1)から(1)から下、片括弧 3 までの条件が、安全解析条件の保守性に 対応する項目である。
1:45:04	いうそういうまとめになっています。
1:45:09	はい。
1:45:17	参照しているもの。
1:45:23	ただそれは、
1:45:38	磯区長改善、
1:45:42	モリユフ線。
1:45:50	弊社、
1:45:53	妥当性償還の中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:00	俺はあるので、
1:46:08	評価する
1:46:26	まず
1:46:28	Mカウンター
1:46:31	合図というところ。
1:46:46	です。
1:47:06	はい。
1:47:11	解析の中でですね。
1:47:15	フジイね。はい。
1:47:17	あくまでコードの妥当性評価を、
1:47:19	下のページ
1:47:30	雨水のカンバラ
1:47:38	に、はい。
1:47:41	これで比較したときには、
1:47:47	あそこで、
1:47:55	何かしらの補正を食い潰してしまう。
1:47:58	逆に、これは、
1:48:14	がはっきりし、
1:48:21	再現解析。
1:48:23	最終形。
1:48:30	使えるのか。
1:48:32	言いました。
1:48:41	コメントの趣旨は、乗り換えいたしました。
1:48:48	ちょっと今この場ですぐ即答はちょっとできないので、ちょっと持ち帰り、
1:48:55	検討させてください。
1:49:11	モリイたい。
1:49:20	ああ。
1:49:24	にここに、
1:49:26	納める
1:49:44	んで今の場合、
1:50:01	誤記の修正、相場の編集スズキちょっと編集の方の削除いたしました。
1:50:41	安心、
1:50:45	うん。
1:50:49	いろんな視点から解析し、
1:50:53	一層であれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:57	シミュレーション、
1:50:59	活用する。
1:51:22	かなり議論
1:51:24	は、
1:51:26	情報としてはかなり、
1:51:34	毎回言うことなんです。
1:51:38	をすべてまとめた上で最終。
1:51:43	はっきり言ってもらえます。
1:51:46	例えば、
1:51:51	加藤清野。
1:51:56	その結果が、その最初
1:51:58	に、
1:52:03	評価をサンゴコガ。
1:52:06	ものすごくすべて勘案した上で、
1:52:10	そういう、
1:52:24	はい。
1:52:30	何か必要である。
1:52:39	すいません。
1:52:45	こういう必要、必要なと考えて、
1:52:48	評価を進め、
1:52:57	保護そのものを、
1:53:02	不安資料。
1:53:14	はい。
1:53:15	わかりました。
1:53:24	はい。
1:53:25	先ほどコメントいただいたWebカウンターとか、そのあたりの話。
1:53:31	つきましては、
1:53:33	ちょっとこの、
1:53:35	今ご指摘いただいたようにそのMCNPの妥当性を説明する説明の中 で、
1:53:42	必要かどうかというところも含めて、ちょっともう一度、
1:53:46	考えてみます。
1:54:25	か何か。
1:54:46	はい。
1:54:48	7 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:51	はい。
1:54:52	26 一番ベース。
1:54:56	資料の 1-8。
1:55:01	あります。
1:55:02	燃料被覆管の周方向についてと。
1:55:06	いう資料。
1:55:09	そうですね。
1:55:11	こう展開。
1:55:12	ございますように、
1:55:14	中央公論の評価結果。
1:55:17	17 年度については、
1:55:20	基準値 100MPa以下というのを満足するんですけども、
1:55:24	1055 燃料については、現状の定検医療型の資料では、ちゃんと基準値を満足できないと。
1:55:30	ということがわかりました。
1:55:34	で、その
1:55:36	評価結果ってのは別紙 1 と別紙 2 の方に示して、
1:55:40	ます。
1:55:41	で、別紙。
1:55:44	方決めめくっていただいて別紙、
1:55:48	すいません先に 1 ページ目を一通りご説明させて、説明させていただきます。
1:55:55	なぜ、その 1515 年度で院長満足できないということに、
1:56:02	そういう事象が起こったかと。
1:56:04	なんですけれども、
1:56:05	設計の当初ですね、評価しているときには、基準値を満足するという結果がえられていたんですけども、
1:56:13	今回このコメントをいただいて、評価条件というのをもう一度再確認をしたんですけども、そのときに、その中間の表は内圧の条件設定がですね、適切でない。
1:56:28	ということが見つかったと。
1:56:31	でございます。その条件を、
1:56:35	正しい、適切な条件に見直して評価をしたところ、今回見直した結果、基準値、逆にPASCAL以下というのを満足できない。
1:56:46	結果に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:48	なってしまった。
1:56:50	でございます。
1:56:53	には、
1:56:54	1 ページめくっていただいて別紙 2、
1:56:59	表の中で、2 ページ目の表の中では、当初の評価結果というのですね、
1:57:07	条件として、初期圧力と初期温度、これ燃料が、の中で、
1:57:16	使われて、取り出す。
1:57:19	取り出される際のですね、燃料被覆管の圧力と温度になります。
1:57:26	その条件がですね、それぞれ 1077 と 1055 で、圧力と温度の条件があるんですけども、
1:57:34	その条件がですね、
1:57:37	当初、
1:57:39	暫定値として、
1:57:44	当初、設定した値が、今回見直しをしたところ、3 ページ目で、赤で書いてますけれども、
1:57:54	初期温度は、同じなんですけれども、
1:57:58	初期圧力がですね。
1:58:01	1055 燃料のほうの圧力が高く、
1:58:06	高い条件。
1:58:14	で、その結果ですね、1055 燃料とか、
1:58:21	結果に、
1:58:23	で、
1:58:27	こういう、
1:58:28	事象が起こってしまいまして、本当申し訳ないんですけども今後ですね、どういう対応をするかというのを、今、社内で
1:58:38	検討しているところだと 1 ページ目の方に戻りまして、
1:58:46	55 の燃料の今後の対応方針というところに書いているんですけども、
1:58:51	燃料使用の、
1:58:54	見直し、具体的な例えばちょっと冷却期間を長くするか、或いは、もう一つの
1:59:02	検討方針としましては、バスケットのですね、26 体のバスケットの更新があるんですけども、今、その一番中央の一番上の高い
1:59:13	ところでも大丈夫になる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:15	あの中の1の制限値の通りにはしてませんので、一番真ん中中心部分の一番高い燃料について、評価をしています。それを対象にして評価をしています。
1:59:25	その1055燃料の一部の部分については、バスケットのですね、一番、
1:59:32	外の外周部、
1:59:35	遮へいの時に、ご説明したので、中央部の最高燃焼度が入る領域じゃなくて、周りの平均燃焼度以下の燃料が入る領域ですね。
1:59:46	そういう領域に、外周部の領域に収納位置の制限を加えるということで、外周部ですと温度が大分下がりますので、
1:59:56	その効果で、100MPaを下回るような、
2:00:03	クリアできるような
2:00:05	条件。
2:00:06	見直しをする。
2:00:08	ことができないかと。
2:00:09	いうことを、今、
2:00:11	検討している。
2:00:14	ます。
2:00:17	今回のコメント回答につきましては、
2:00:21	以上になります。
2:00:26	当社の不適
2:00:30	を、
2:00:31	1055燃料については、何かしら
2:00:37	規制庁。
2:00:38	次の、
2:00:44	ホデさん。
2:00:45	はい。
2:00:47	前が何か確認したい点など、
2:00:50	ものがありましてお願いし、
2:01:06	を、
2:01:17	ですね。
2:01:22	鳥羽白根。
2:01:29	今回の
2:01:32	事例、
2:01:40	10件。
2:01:43	今度、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:46	量、温度っていう
2:01:51	この算定
2:01:58	ビームを考えた何とかっていうふうな
2:02:07	何か、
2:02:11	はい。
2:02:12	本郷から
2:02:33	ポン酢という。
2:02:34	と、このす。
2:02:38	温度温度の差をやっても、
2:02:41	もう終わってる値、
2:02:45	どのようにこれ、
2:02:54	で、
2:02:55	おそらくは、
2:02:59	要はその実行方向の分、
2:04:10	照射に伴って、
2:04:39	ことは、
2:04:46	成り立たないのかな。
2:04:58	そもそも、
2:04:59	最高温度だ。
2:05:17	上着のモデル
2:05:30	を考慮し、
2:05:38	それ以外
2:05:48	の間の
2:05:58	顔を示し、
2:06:02	さらに何かのファクターを、
2:06:05	それは、
2:06:09	したがいまして、
2:06:13	じゃあ、
2:06:27	この式、
2:06:39	これは
2:06:43	先ほどの、
2:06:45	ブランド
2:06:48	ほとんどそこに合葬。
2:06:58	アノオンダ。
2:07:13	とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:24	まだ、
2:07:29	要はこの日
2:07:47	は、T-シモジョウです。
2:07:49	と、まずですね、幾つかご質問いただきました。
2:07:55	補正式の割り算している値、
2:07:59	どのようにして評価したのかということですがけれども、これにつきましては、
2:08:12	アノ。
2:08:13	資料 1-1 ですね。
2:08:16	資料 1-1 の、
2:08:19	38 ページと 39 ページのところで、
2:08:24	同じ。
2:08:25	類似の説明をしている箇所がございます。
2:08:31	この 3839 ページの
2:08:36	ところは、コメントはですね中性子遮へい材の評価結果が基準値に対してあまり裕度がないと。
2:08:48	ということに対してどういう
2:08:51	何、どういう裕度を持っていますかという説明をしてくださいと。
2:08:57	いうことをコメントいただいています。
2:09:00	で、
2:09:09	その中でですね
2:09:12	この同じような補正式を使って、ピーキングファクターの
2:09:18	による発熱量の保守性というのを考慮するということを使って説明をしております。
2:09:26	そのピンファクターの裕度というのがその次の 39 ページの方で示しているんですけども、
2:09:36	実際ですね、
2:09:39	燃焼度分布のデータ。
2:09:42	これは
2:09:44	OECDの公開されてるデータをベースに比較したものです。実際の燃焼度分布の
2:09:51	実測値と、TK26-Pファクターを比較した図が、
2:09:57	39 ページにありまして、全体的にですねピンファクターの平均値に対して、Pファクターの地震が全体的に裕度を持っていると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:09	燃焼度について裕度を持っていると。それを発熱量の誘導というのに置き換えると、この比率になります。
2:10:19	ですので、そのOP品ファクターの設定の保守性を考慮した発熱量の誘導で、温度の補正をしたということです。
2:10:30	外勤の温度を基準にして、温度差、温度差と発熱量が比例関係にあるという関係を使って、補正をしたと。
2:10:40	ということでございますそれが
2:10:44	先ほどの資料の1-8の中の、備考のほうで書いた式の意味になります。
2:10:54	次に、
2:10:58	式の意味と裕度をどういうふうにして考えたかっていうのは今ご説明した通りです。
2:11:11	ペレットの膨張によって、
2:11:13	クラッドペレットの間の隙間がなくなるということがないのかというような趣旨のを押す質問があったかと思うんですけども、
2:11:25	今、
2:11:27	この
2:11:28	説明資料の中では、
2:11:36	事故方向の平均的な温度というのを特に考慮しているわけではございませんので、その点1はこれ今のこの計算書の中では特に、
2:11:47	それを考慮する必要はないというふうに思っています。
2:11:53	もう一つが、
2:11:57	熱解析の方で行っている。
2:11:59	軸方向、輪切りモデルですね、輪切りモデルで、軸方向への熱の逃げと いうのを考慮しているんですけども、それと、今ここの補正式で使っている、
2:12:12	発熱量の裕度を考慮した、
2:12:16	考慮と、その誘導
2:12:20	補正の誘導、ダブって、ダブルカウントしていないかという意味につきましては、先ほど申しましたように、ここの補正をかけている比率というのはあくまでも燃料の、
2:12:32	ピーキングファクターの保守性から来る、燃料の発熱量の保守性を考慮しているのであって、軸方向の熱の逃げっていうのはある決まった発熱量にいた発熱量の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:43	キャスクの温度の評価方法で、事故後の日数の意見というのを公表していますので、その安全解析で考慮している事故放熱の人間と、今回このピーキーファクターによる発熱量っていうのは、ダブルカウントしているものではございません。
2:12:59	はい。今ご質問いただいた点は、今、大きいわけでその3点だと理解しましたけれども、それでよろしいでしょうか。
2:13:14	はい。
2:13:25	切れちゃう。
2:14:06	私のパソコンだけ。
2:14:19	中、
2:14:24	馬は
2:14:29	1055 燃料、
2:14:31	は、
2:14:39	ちなみに申請者とか、
2:14:41	できるって書いて
2:14:43	申請書の中では、その、
2:14:47	100MPaちょっと下回る書いてあるっていうようなことは、
2:14:52	審査本部の中で特に書いていません。
2:14:55	が、
2:14:57	材料を準備して、ホデさんちょっと、
2:15:01	材料の経年変化の説明資料、補足説明資料の中では書いてますね。
2:15:13	電池切れになっちゃってますから、古藤さんが説明始めたところはちょっともう1回しゃべってもらっていいですか、すみません。
2:15:20	わかりました。
2:15:23	どうぞ。
2:15:25	はい。
2:15:32	ちょっとおつきい声でお願いし、
2:15:47	そうそう、ここでしゃべってください。大丈夫。
2:15:55	いや今聞こえますか、説明。
2:15:59	今しゃべってる。
2:16:09	そこですらね。
2:16:11	御説明だと。
2:16:13	そこは
2:16:30	はい。
2:16:33	実際の燃料の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:35	実際の
2:16:37	燃料の、
2:16:39	燃焼度分布に対して、
2:16:42	TK26 型で考慮している。
2:16:45	ピーキングファクターに裕度を持っているので、その裕度の分を、発熱量に換算すると、この比率になるということでございます。
2:16:57	はい。だから、そこで現実的なところで、
2:17:01	はい。
2:17:02	その通りで、
2:17:30	少なくとも、それで、
2:18:44	それにしても、
2:18:49	すいません。
2:18:51	%。
2:18:52	PMシモジョウですけど確認させてください。
2:18:55	今堀江さんのおっしゃってるのは、
2:18:57	イトウ
2:18:59	発熱量P金ファクターの誘導。
2:19:02	を考慮して補正を御アノ計算した結果の温度に対して補正をかけるということではなくて、
2:19:10	大元の熱解析のそのピーキングファクターの設定を、実際の燃料の
2:19:20	に合わせたような形で設定をした方が良いのではないかとそういうことです。
2:19:26	はい。
2:19:30	熱解析のピーキングファクターを、
2:19:34	もう
2:19:36	実際の燃料と、
2:19:40	そうすると、実際、
2:20:13	それに対し、
2:20:37	はい
2:20:38	コメントで自分のコメントの趣旨はわかりました。ちょっとどういう対応するかは、
2:20:45	持ち帰って検討いたします。
2:21:09	要はこうだろう。
2:21:26	すいませんちょっと研修も、もう一度すいませんちょっと
2:21:30	よく、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:31	聞こえません。
2:21:34	対応の下、
2:21:50	はい。
2:22:03	中心部の中心部の例えば、
2:22:08	その
2:22:10	リバース。
2:22:41	ような
2:22:43	燃料の全体的な温度としては外周の外周部のバスケットの外周の温度の方が明らかに下がる下がりますので、
2:22:54	そこは近藤。
2:22:57	週のうち、温度を下げることで、効力を低下させるということについては周囲制限っていうのは、かなり有効に、
2:23:07	働くというふうに我々は、私どもは考えてございます。はい、わかりました。はい。
2:23:24	はい。
2:23:38	あ、はい。
2:23:40	はい。
2:23:42	うん。
2:23:45	この当初と、
2:23:47	ここが書いてある。
2:23:49	ファイナンスメーカーから
2:23:54	そのときの経緯ってあるんですけども、
2:23:58	いただいた情報が、
2:24:01	当然、暫定値でいただいたのが、
2:24:05	申請書、3 ページで、大体昔なんですけど、出してもらっていて、そのあと、
2:24:17	年当時の経緯をちょっと調べたんですけども、約 1 年後ぐらいに見直した数字をいただいているのありまして、
2:24:27	これは圧力と温度がこう収納するときの活力と、
2:24:35	そういうものなの。
2:24:37	これは炉の中に、
2:24:38	いろんな
2:24:39	ない、燃料を取り出す直前の圧力とクドウ、
2:24:45	事故解析とかに使ってる温度圧力では、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:56	キャスクのキャスクの設計で使っている、温度とかそういうのとは全く関係なくですね、キャッシュで使ってるからその取り出してから 15 年とか 20 年とか冷却した条件の、
2:25:08	発熱量で、除熱設計しますんで、N-S解析しますので、それとは関係なく、初期の燃料がアノウノから取り出される直前、
2:25:20	ずとってという条件を、
2:25:31	あ、
2:25:36	そうするまでに、
2:25:39	なってしまう
2:25:41	でも変な話。
2:25:42	そんな時点で、
2:25:44	これ、
2:25:44	正しい回答が出てるわけじゃないじゃない。
2:25:48	あとはヤギ
2:25:50	シマ。
2:25:52	だなんていう。
2:25:54	発生どうぞ。
2:25:56	ますけど、
2:25:58	そもそもの出勤圧力温度も変わっちゃうんだなんていう。
2:26:05	もう何かこの、
2:26:07	でも、
2:26:13	そこはまた別の別の理由で、
2:26:16	説明はできると思ってるんですけども、
2:26:26	だろうなんていう
2:26:27	イソベさん。
2:26:29	はい。
2:26:38	ありがとう。
2:26:40	私は今説明いただいたので、
2:26:44	私の質問は、解析って、
2:26:47	北川かったら、
2:26:49	下げる今度しかないね。
2:26:52	今ご説明。
2:26:54	整理することによって温度差がです。
2:26:57	でます。
2:27:10	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:11	ちょっと私聞いた。
2:27:13	と申請との関係ではまた考える。
2:27:18	申請中にはどう変えて、
2:27:21	井清所の本部
2:27:23	では、
2:27:24	ここの 100MPa
2:27:28	特に言及しておりません。
2:27:33	温度が、
2:27:35	制限というのが 275 っていうの制限があるんですけども、
2:27:39	その温度制限なんかは、
2:27:42	書いてあるんですけども、申請書本文の中で、
2:27:46	暴力についての、
2:27:48	基準値とかそれに対しての研究では特にしておりません。ただ、
2:27:53	補足説明資料、経年変化に関する補足説明資料があるんですけども、その中で、100MPaを、
2:28:03	超えないと、というような記載をさせていただきます。
2:28:07	ちなみに、
2:28:09	資料 5 トデータ添付にも書いてない。
2:28:14	書いてないです。
2:28:19	100MPa 僕そのものは書いてないけど、
2:28:22	IG 等制限しない。
2:28:25	作るんだったら別になってきます。
2:28:31	いや、今言ってるのは、もし、
2:28:34	ここに、
2:28:35	しか起きませんっていうんだったら、その書きぶりが変わってくるんじゃないですか。うん。もちろん、
2:28:43	要は法制申請というか申請書に羽根が出るんじゃないとか、
2:28:50	はい。はい。
2:28:53	現状を。はい。もしここで、方針の方に書いてますように、中の位置の制限をするということになりますともちろん、申請書の方で、
2:29:04	燃料配信をここに、ここだけに入れるとか、追加する必要がありますか補正しないといけませんので、その辺りは審査会合のところで、どういふふうに、
2:29:17	今後検討するって言ってますけど、時間はないでしょうけど、10 月ぐらいにある、今 10 月末が 8 月中には審査会合をやろうとしてるんで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:27	そこでどういうふうにするのかというのを、
2:29:31	進めていただいて、我々との
2:29:36	それに合わせて申請書に関連する羽根があるんだったら、ここどういう書きぶりに変わるんです。
2:29:42	いうところを、
2:29:44	やっていかないと、
2:29:46	止まっちゃいますよ。
2:29:47	はい。
2:29:49	ナカ入りする方法があるのであれば、見つけない。
2:29:55	記載を変えられるところがあるのであればっていう。
2:29:59	さっき、彼女は言うてましたけど、もっと早く、
2:30:03	てもらえれば、早く対応できるっていったところはどうもやりましょうね、話だと。
2:30:11	そんなところ。
2:30:14	はい。
2:30:16	わかりました。
2:30:20	はい。ちょっと審査会合、
2:30:23	あとちょっとあんまり時間ない、その場で明確にこうしますっていう断言するところまでは、ちょっと、
2:30:30	それはお任せしますけど、
2:30:40	以上で、はい。今日のヒアリングは、
2:30:47	はい、ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。